

真摯に語りかければ、受けとめてくれる若者たち

保育士を目指す若者たち（140 余名）への半年間の授業を終えた。授業の終り頃の出欠調べに次のような感想が書かれていた。黒板と向き合うのではなく、真摯に学生に向き合い語りかければ、若者たちはこちらの想いをしっかりと受けとめてくれるよう……。

・他の授業では習えない、命とは、生きるとは、保育とは、などとてもためになることをたくさん学べて良かったと思います。この授業で普段はあまり考えたことのなかった大切なことに気付くことができ、とても私にとってプラスになったと思いました。

・この授業では多くの勉強になる話や、ビデオを見せていただき、学ぶ事がとても多かったです。特に感じたのは、「命」や「人生」の大切さです。一生懸命生きる事が大切なのだと感ずることがとても多かったです。本当に色々考えさせられる事が多く、自分自身の精神的な成長につながった気がします。このことを保育の場に生かし、よりよい保育者となれるようがんばります。

・この授業を通して命の大切さ、心の持ち方などさまざま面で学習できました。本当にこの授業は、自分のためになったと思います。この先保育士になろうとしている私に、とても素晴らしい授業でした。私に生きる事、命のあり方を教えてくれたような気がします。

・先生のように、本当に学生に真剣に学んで欲しいという気持ちで教えてくれる先生というのは、とても少ないように思います。いろいろな人に（たくさんの人に）先生の講義を聞いて欲しいと思うので、まずはこれからもこの学校で教えて欲しいと思います。

・私自身がよく考えることができる授業はこれしかないので、2年生になっても受けたいぐらい、私にとって意味のある授業でした。

・大勢の前で反感を恐れなくてズバズバッと云える先生、すてきです！私はあこがれます。

・私なりに考えてみるという事が一番できた授業だったと思います。中学、高校から私が望んでいた授業がここにありました。

・たくさんの悩みを抱え疲れていました。けれど先生の話聞いていく内に、がんばろうと前向きに考えられるようになりました。

・本当に自分の救いになるありがたい授業でいつも楽しみにしていました。先生に出会えて本当に幸せです。

・単位のために受けるのではなく、自分のためになるから話を聞きたいと感ずることが出来る授業でした。

・自分発見をさせてくれた先生にとっても感謝の気持ちでいっぱいです。

(2005 年 1 月 21 日 記)